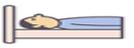


整形外科 大腿骨頸部骨折の手術を受けられる様

様

イベント	入院日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後1～3日目	手術後4～9日目	手術10日目	手術11～15日目	退院日	
月日	月 日	月 日	月 日	月 日～	月 日～	月 日	月 日～	月 日	
到達目標	手術に向けて不安が軽減できる			手術後に起こる苦痛を最小限になる		自立度に応じた日常生活を行うことができる		退院後の生活がイメージできる	
治療薬剤	<ul style="list-style-type: none"> 緊急入院の場合、持参した薬は、看護師に預けてください。・預けたお薬は、薬剤師が確認します。 	<ul style="list-style-type: none"> 確認したお薬は、病棟で管理します。 足に弾性ストッキングの説明とサイズを測ります。洗い替えの購入が必要です（サイズによっては包帯のこともあります） 	<ul style="list-style-type: none"> 医師から指示されたお薬のみ、内服します。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術した足は、腫の褥瘡予防のため枕を使用します。 	<ul style="list-style-type: none"> 主治医または回診で、傷のガーゼ交換を行います。 術後から、骨を強くするお薬の内服をします。 弾性ストッキングは毎日交換します。 	<ul style="list-style-type: none"> 傷の状態を確認し、汚れている場合は交換します。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師が足の傷を確認し、絆創膏を除去します。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行できるようになったら、弾性ストッキングは終了です。 	[薬剤師より] 内服の説明があります。
処置検査	<ul style="list-style-type: none"> 爪は短く切って下さい □現在内服中のお薬 □お薬手帳 □ボールペン（必要書類サインのため） □入院生活に必要な物（アメニティの申し込みは入院後になります） □入院案内 □書類 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の方も一緒に来院して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術着に着替えた後、点滴をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後に採血とレントゲンがあります。 心電図を装着します。 定期的に、体温、脈拍、血圧などを測定します 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後1日目、抗生剤の点滴をして終了です。 手術後1、3日目に採血があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後7日目に採血・レントゲン・CTがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後10日目に採血があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後14日目に採血とレントゲンがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院は午前11時までになります。 転院の場合、指定された時間に転院します。 ・クラークが請求書を届けます
リハビリ			<ul style="list-style-type: none"> 麻酔が覚めてきたら足首を動かしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後1日目からベッド上でのトレーニングや座位練習、車椅子への移乗を開始します。 手術後2日目からリハビリ室にて平 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みに応じて歩行器や杖での歩行練習を開始します。 自主トレーニングの方法を指導します。 階段など自宅環境に応じた動作を練習します。 				
活動安静度		<ul style="list-style-type: none"> 骨折部の安静のため、入院後はベッド上安静です。痛みに応じて頭を起こすことができます。 横を向く時は、ナースコールで看護師を呼んでください。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後は翌日の朝までベッド上安静です。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術翌日から食事を開始します。 栄養士が訪問し、病状や嗜好に適した食事を提供します。 食事の選択ができます（医師の指示や食種によっては選択できないものもあります） 	<ul style="list-style-type: none"> 自身で動く許可があるまでは、看護師の介助が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> リハビリの進行具合で、補助具を使用し、歩行訓練をします。 			
食事		<ul style="list-style-type: none"> 食事・水分制限があります。医師の指示に従ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後の水分は医師の指示により看護師が説明します。それまではお待ちください。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術翌日から食事を開始します。 栄養士が訪問し、病状や嗜好に適した食事を提供します。 食事の選択ができます（医師の指示や食種によっては選択できないものもあります） 				<ul style="list-style-type: none"> 食事の制限はありません。（生活習慣病のある場合は、医師の指示に従ってください） 	
清潔		<ul style="list-style-type: none"> 午前中に体を拭き、手術衣に着替えます。 		<ul style="list-style-type: none"> 午前中に体拭きをします。 週1回洗髪・足浴をします。 		<ul style="list-style-type: none"> 医師の許可によりシャワー浴が可能となります。 			
排泄		<ul style="list-style-type: none"> 緊急入院の場合、救急外来で尿管を留置することがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室で尿管を入れます。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術翌日に尿管を抜き、車椅子に移乗できれば、痛みに応じてトイレで排泄できます。 	リハビリの状況により、車椅子や歩行器でトイレにいけます				
看護	手術に向けて不安が軽減できるよう支援していきます。		手術後に起こる苦痛を最小限にできるよう支援します。		日常生活の自立度に応じて日常生活の援助をしていきます。		退院後の生活に向けて支援していきます。		
患者さん・ご家族への説明	<ul style="list-style-type: none"> ご不明な点はお電話ください。 ・病院代表 0568-76-4131 ・患者支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> 【医師から】 ★入院の説明と治療の説明があります。（外来でお済の方はありません） 【看護師から】 ★説明後、「入院診療計画書」、「同意書」にサインをお願いします。（外来で説明がお済の方は、サイン記入後、提出してください） ★安全確認のため、患者識別のリストバンドをつけていただきます。 ★病棟、入院中の生活、治療の流れを説明します 	<ul style="list-style-type: none"> 付き添いの方は、手術終了まで病室またはディルームでお待ちください。 【医師から】 ★手術直後の説明は主治医よりあります。 ★手術後、状態が安定していれば、付き添いの方は帰宅していただけます。 	<ul style="list-style-type: none"> 【看護師から】 転院希望、介護保険利用希望などのある場合は主治医、ソーシャルワーカーに相談してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ転院の場合、ソーシャルワーカーから連絡があります。ソーシャルワーカーと相談しつつ転院先を決定していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 【医師から】 ・退院又は転院に向けて、医師から説明があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 【看護師から】 ★「退院療養計画書」を基に退院後の生活、次回来院の説明があります。 ★転院の場合、転院先へ持参する必要書類をお渡しします。 ★病室内点検の後退院となります。 		

患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。経過についてはその都度、個別に説明いたします。

患者パス作成：2022年7月 小牧市民病院